

臨時大会に向け、各分会から意見続々！！

来る3月7日(金)、第94回臨時大会を開催します。大会に向けた一斉分会では、それぞれの職場で直面している問題点や、研究機関としてあるべき職場の姿について、活発な討議が行われています。各職場の組合員の声を大会の場に集めていきましょう。まだ代議員が決まっていない分会は、早めに選出して執行部までご連絡下さい。

第94回原研労組臨時大会

大会期日：2008年3月7日(金) 13:00から17:00

開催場所：村松コミュニティセンター(東海村) 2階 会議室

議題：第1号議案 第59期,運動の中間総括と春闘方針

第2号議案 ストライキ権の集約

~~~~~

### <分会で出された意見から>

#### 賃金・一時金等について

- ・賃金改定でプラスになった1～3級職員の人数はどのくらいか。(労組注：機構の説明では10%から20%の間とのこと。)
- ・賃金改定の協定期限は、9/30で交渉が決着したことはないのになぜこの日なのか。昇級も7月になってボーナスの後になり、損をした。機構はやることがせこい。
- ・協定期限が関係するのは1～3級の賃金改定の部分だけか。
- ・一時金や退職金で、両法人の差はどうなったのか。調整額が入っているならやはり旧サイクル機構優遇ということにならないか。
- ・長期に受けてきた賃金差別の是正措置として、5級でも良いから同年齢の平均モデル賃金に上げてほしい。
- ・5級以下は、55歳以降も定期昇給を4号昇給としてほしい。
- ・これから何が起こってもおかしくない。機構は論理の整合性がない。

#### サービス管理システムについて

- ・サービス管理システムで5級・6級の審査者や承認者について、職務外の仕事なので規程を変えろと説明会で言った。「命令していないものは承認できない」と指摘した。超勤での労災などの責任は月次承認者が持つことになるので、承認者や審査者の責任ではないだろうが、労基法では月次管理でなく日々管理なので、補助者が必要になってくる。
- ・サービス管理システムはGLの負担が大きく、仕事の妨害である。超勤を申請する側もやりにくい。
- ・今は今までのやり方で良いが、今後PC管理の使い道として、機構がやり方を変えてくる可能性が十分あるので注意が必要である。
- ・正論で、仕事をした分は超勤をつけて、管理職が怒られるならばそこで管理職が頑張ればよい。
- ・正論は分かるが、現実問題としてそれでやっていけるのか。仕事のやり方や人間関係など。失うものもあるのではないか。
- ・本来は研究のあり方の問題であるはずが、時間だけの問題にされてしまっている。研究には自由度が欲しい。
- ・サービス管理システムについては、抵抗はあるがみんな個人PCでやっている。全員が年540時間を超えている。産業医は実態で出せと言っている。
- ・サービス管理システムは、社会人大学院生が勉強で残っているなどどうすればいいのか。その人が、最後に鍵を返すことが多く、返却時間でどうせばれてしまう。
- ・労組ではこれまでフレックスに反対してきた。導入によって管理が強くなってしまいうから。サービス管理システムでフレックスもちゃんと管理できるようになると良い。
- ・サービス管理システムは様子見が必要。ちゃんと払えるのか。超勤するなというしめつけが厳しくならなければいいが。水曜日でも超勤できるのに手続きしてくれず、「入力が違ってませんか」と言ってくる。
- ・原科研の超勤限度時間が「一般22時間 通知で27時間 協議で45時間」となっているのは、労組としてできるだけ超勤は減らすという考えからだったが、実態は課室長や事務が「通知で27時間」の手続きも渋っている。核サ研では限度時間が40時間らしい。旧原研も超勤協定を見直す可能性はないか。
- ・出勤簿の電子化は良いが、ON/OFF管理はやめてほしい。しかし労基署はそこが主目的なのだろう。
- ・サービス管理システムで、年休をとるのに理由を選択するようになっている。理由などいらぬはずである。この欄は、即、削除するよう求めてほしい。

- ・ 服従管理システムについて、OSによってはパソコン投入・切断時間を記録しない  
でいいことになり、管理される人とされない人がでてくる。これは不公平だ。機構  
は、現在動作しないOSについて、今後利用できるようにバージョンアップするの  
か？ どのような方針だろうか？
- ・ リンシアにいくらお金がかかったか？ 金額を聞いてほしい。聞く権利はあるはずだ。
- ・ 勤務や財務管理などを、安易にシステム化しすぎる。ちゃんと考えてやっている  
とは思えない。
- ・ なんでもシステムを作るが、お金がいっぱいかかっていると聞くが、その割にはパ  
ソコンのOSによっては動かないなど、どうなっているのか。また、結局は現場の  
職員に労力ばかりかかってくるのはいかがか。
- ・ グロービアのようなシステムにしても、なぜこのようなことにお金をかけるのか？  
システムなら、計算センターが安く作れるだろうし、記録に残すなら、エクセルレ  
ベルでも問題ないだろう。

#### 定年年度末・継続雇用について

- ・ 定年の年度末統一については、今後の計画を聞くべきである。
- ・ 定年後嘱託は、今後も2年ごとに、延びるたびにまた減らすのか。長期的に見て釘  
を刺しておく必要がある。
- ・ 定年年度末統一はぜひ取り組んで欲しい。機構が「怒っているのは前半生まれの人  
だけ」などと考えているのならけしからん。ピラで宣伝すべき。

#### 研究員・技術員認定について

- ・ 研究員・技術員の認定問題だが、技術員の認定基準は厳しい。それに対して研究員  
は論文1本で良いので、それが駄目な人まで労組が認定を求める必要はないのでは  
ないか。労組では今の認定基準をこれ以上厳しくしないように求めていくべき。

#### 予算・人員不足、過重労働について

- ・ 本来業務がある上に水平展開や二重チェックがあり、仕事が増えるだけで人は変わ  
らない。これではミスは起きる。人員はこれ以上減らせない。品質保証部など作っ  
て一元管理しないとまたトラブルが起きるのではないか。
- ・ 現場仕事があると書類仕事はどうしても夜になってしまう。水平展開などは超勤で  
こなすことになる。
- ・ みんな真面目なので頑張ってしまう。するとそれだけ仕事が多くてもできるんだと

見なされてしまう。実際はあつぱあつぱ状態。

- ・ 水平展開では根本原因を追求していない。
- ・ 人事評価制度は「シベリア抑留者の理論」で、あるレベルまで仕事をやるとそれ以  
上やるようにノルマが上がってしまう。従って高い目標が書けなくなってしまう。
- ・ 人材育成にはゆとりが必要。紙ばかり増えて力が注げない。
- ・ 担当人数が減っているため休みが取れない。新人教育も考えると、最低3人はいな  
いと回っていかない。
- ・ 原子力は縛りが厳しいので、新しい人が入ってこなくなってしまうのではないか。
- ・ もんじゅなど、あるところには金がある。JRR-4は老朽化が進んでいて危険である。  
こっちにも回して欲しい。夏に問題になった埋設配管なども、あるのは分かっていた  
が金がなくて対策ができていなかった。

#### 奨学金・博士研究員など

- ・ 原子力機構が奨学金の返還免除機関でなくなっていたのは知らなかった。ショック  
である。
- ・ 博士研究員は、奨学金返還の猶予になっているのか。学振の研究員は猶予がある。  
年金や健保などもどうなっているのか。(労組注：博士研究員の期間は申請により  
奨学金返還は猶予になります。健保及び厚生年金・厚生年金基金に加入していま  
す。)
- ・ 博士研究員の給与が高いなどという声が本当に職場にあったのか。一部をとらえて  
理由にしているだけではないか。あゆみ速報で問題提起すべき。

#### 住宅について

- ・ 住宅二重貸与問題は押し切られてしまったのか。旧サイクル機構流か。
- ・ 住宅二重貸与問題は本当にかわいそう。家族がばらばらに住む羽目になった人もい  
る。出て行かされるようになったのは機構になってから。
- ・ 単身赴任者家族の住宅について、それぞれに住宅を借りられないのは問題だ。この  
ような制限が、規定(条文)のどこを解釈したらでてくるのか。
- ・ もと原研の人で、独身寮に入れず、旧サイクルの太田寮にはいる人がいる。ここは、  
一部屋を2つに区切ただけのもののように、となりの音が響くらしい。
- ・ 旧サイクル機構の住宅は雨漏りがひどいが直してくれない。

- 次号に続けて掲載します。